

# 【 農業者・農業法人の皆様へ 】

## 畑かん営農実証圃によるこれまでの成果について

本町においては、平成 28 年度から県営農地整備事業第三肝付地区において畑かんの一部通水が予定され、高山地区において最終的に畑かん通水受益地が約 520 ha 計画されております。

本町では既存の農作物や飼料作物の水利用効果や高付加価値及び高収益の望める作物の導入等について実証圃を設置し、試験栽培に取り組んで参りました。ここでは、その一端を紹介します。

### 【耕種部門】

#### 加工用サツマイモ（平成 17 年度試験）

植付の時にかん水を実施して活着促進を促し、収量を増加させることを目的として、5月11日と12日に連続して4トンのかん水を実施しました。調査結果として、無かん水区に対して122%の増収となりました。



（単価は平成 17 年度当時）

	収量計 kg	A 品（単価：60 円/kg）		B 品（単価：45 円/kg）		合計販売額（円）
		収量kg	販売金額 円	収量kg	販売金額 円	
かん水区	2,850	2,760	165,600	90	4,050	169,650
無かん水区	2,330	2,260	135,600	70	3,150	138,750

### 【畜産部門】

#### トウモロコシ（平成 17 年度試験）

飼料作物の発芽促進及び収量の増加並びに播種時の除草剤効果を高めるために試験を行いました。調査結果として、無かん水区に対して144%の増収となりました。尚、国などが実施する試験でも種類により増収効果が確認されています。



区分	調査時の熟期	桿長 (cm)	着雌穂高 (cm)	10 a 当たり 生収量 (kg)	10 a 当たり 乾物収量 (kg)
かん水区	乳熟期	254.2	107.3	6,960	1,380
対照区	乳熟期	244.8	113.5	4,890	955

◎お問い合わせ先

肝付町役場農業振興課 農政係

☎ 0994-65-8417